

頁	場 所	現 行	修正後	備考
319	左, ↑1行目	溶媒のモル凝固点降下	溶媒のモル凝固点降下	
359	右, ↓12行目 式 11b	…… = $pK_w$	…… = $pK_w = 14$	
411	右, ↓6行目	電解製錬	電解精錬	
同	図 14・14 キャプ	電解製錬	電解精錬	
488	右, ↓8行目 「要点」中	……. 周期表の右手にある金属ほど、 鉱石から単離しやすい.	……. 一般に周期表の右手にある金属 ほど鉱石から単離しやすい.	例外もあるた め
489	左, 本文↑6行目	高温冶金では、まず濃縮した鉱石を焙 焼する.	高温冶金では、まずつぎの反応で鉱石 $CuFeS_2$ を $Cu_2S \cdot FeS$ に変える.	
同	続く反応式		$2 CuFeS_2(s) + SiO_2(s) + \frac{5}{2} O_2(g) \rightarrow$ $Cu_2S \cdot FeS(s) + FeO \cdot SiO_2(s) + 2 SO_2(g)$	矢印の上に Δ あり
同	続く文章 4行		つぎに、溶錬 (smelting) とよばれる 以下の反応で、 $Cu^+$ を $Cu$ (熔融状態) に還元する.	
同	続く反応式		$Cu_2S \cdot FeS(s) + SiO_2(s) + \frac{5}{2} O_2(g) \rightarrow$ $2 Cu(l) + FeO \cdot SiO_2(s) + 2 SO_2(g)$	矢印の上に Δ あり
同	続く文章	溶錬直後の銅は	溶錬直後の銅 (純度 99.5%) は	
同	右, ↓12行目	湿式冶金は、 $Cu^{2+}/Cu$ 系の電位が正 値 ( $E^\circ = +0.34 V$ ) だからできる. 電位 が負の亜鉛 ( $E^\circ = -0.76 V$ ) やニッケ ル ( $E^\circ = -0.26 V$ ) は湿式冶金できな い.	$Cu^{2+}/Cu$ 系の電位が正值 ( $E^\circ = +0.34$ $V$ ) の $Cu$ は湿式冶金しやすい. ただし 電位が負の $Zn$ や $Ni$ も、水素発生の過 電圧 (p.410) が大きいため湿式冶金で 製造される.	
560	左, 脚注追加		基本単位の新しい定義については HP 内の正誤・補遺一覧を参照.	定義変更に伴 う
583	左, ↓11行目 12・19B	…… $-(1.0 \times 10^{-14})$ ,	…… $-(1.0 \times 10^{-14}) = 0$ ,	